



## 3. 21 さようなら原発 全国集会開催！ フクシマを忘れない！ 岸田政権の原発回帰反対！

「『さようなら原発』1000万署名市民の会」は3月21日、代々木公園にて「3.21 さようなら原発 全国集会」を4,700名の参加者のもと、3年ぶりに開催しました。集会の冒頭、呼びかけ人の1人でもあり、志半ばにして亡くなられた大江健三郎さんに黙祷を捧げ、その遺志を継ぐことを参加者全員で確認しました。

東京電力福島第一原発事故から12年。未だに廃炉作業は進まず、全国で約31,000人の方が避難生活を余儀なくされています。一方で岸田政権は原発再稼働、新增設、建替え、60年を超える運転を認めるなど、原発回帰を鮮明にし、今国会でそれらを盛り込んだ「GX（グリーン・トランスフォーメーション）脱炭素電源法案」の成立を目指しています。

集会で福島県からの参加者は「原発回帰は福島の事故をなかったことにすることであり許されない」と訴え、ルポライターの鎌田慧さんも「原発に回帰などできるはずがない。クリーンエネルギーというのはうそっぱちだ」と岸田政権を批判しました。

JR東海労はJR総連の仲間と共に参加し、脱原発への誓いを新たにデモ行進を行い、原宿、表参道の街を行く人々に、人類と原発は共存できないこと、いのちと生活を破壊する原発は必要ないことを訴えてきました。

